



# 年末手当に対する若手の声①

## 生活実感について

- ・ 基本給だけの生活では苦しい。手当がない検修職場はなおさら。正直夏季手当 2. 0 でも足りてない。賞与という言い方をされるが、はっきり言って生活給の一部。これがないと生活できない。
- ・ ボーナスが連続で減る一方、支出は変わらない。むしろ増えている。不安を抱えながら生活を続けているのが辛い。
- ・ 年収を計算したが前年に比べても大幅に減る。支出は変わらないどころか物価上昇やコロナ禍における楽しみを見つけるために投資した分、支出はむしろ増えてどこかで我慢をしないとイケない。
- ・ 貯金を切り崩して生活しているのが現実。
- ・ 家計ははっきり言って赤字で火の車。同じく赤字の J R 東日本は社員のみなさんへの中で「ネバーギブアップ!!」と言っているが、家に帰って嫁さんに「ネバーギブアップ!!」なんてとてもじゃないが言えない。
- ・ スマホも安いものにしたたり、家族には利用頻度の低いサブスクを解約してもらった。はっきり言って削れるところも減ってきている。というかあとどこを削る? という感じ。別にコロナ禍でも家賃や電気代、水道代、ガス代は変わらない。むしろ家にいる時間が増えている分生活費も増えている。このまま行くと会社と家の往復、三食を食べるだけの生活になりそう。行く末は住まいも失ってしまうのではとも思う。
- ・ このまま行くとアフターコロナで娯楽に使える支出はかなり厳しくなるのではないかな。
- ・ 収入が減ったのでぜいたくできなくなった。子どももいるのでそっちにもお金がかかる。自分たち大人にかけられるお金はない。

**社友会ではこのような声があっても交渉できない!!  
労働組合に結集し、年末手当の満額回答を勝ち取ろう!!**